

請 願 文 書 表

平成 2 3 年 9 月 9 日 提出

番 号	平成 2 3 年 請 願 第 1 号
件 名	「原子力発電からの撤退と自然エネルギーへの転換を求める意見書」の提出に関する請願
請 願 の 趣 旨	<p>東京電力福島第一原子力発電所事故の発生から既に半年が経とうとしていますが、未だに収束の目処はたっていません。</p> <p>事故の検証も全く行われていません。</p> <p>東京電力福島第一原子力発電所の立地自治体は勿論、周辺自治体住民も放射線の拡散による汚染の影響で、生活・生産の場が失われ、ふるさとへ戻る希望も抱けないでいます。</p> <p>避難を余儀なくされている子ども達も少なくありません。</p> <p>東京電力福島第一原子力発電所事故の最大の原因が「日本の原子力発電は絶対安心」といった根拠のない「安全神話」に取りつかれ、地震や津波への備えを十分に行ってこなかったことにあり、事故が「人災」であることは明らかになっています。</p> <p>原子力発電所事故の収束も見通せない基で、原子力発電からの撤退と自然エネルギーへの転換を求める声は、国民多数の世論となっています。</p> <p>しかしながら、政府は、2010年6月に閣議決定した「エネルギー基本計画」が14基以上の原子力発電所の新增設を明記しているにもかかわらず、これを見直そうとはしていません。</p> <p>明らかに国民世論に逆行しています。</p> <p>よって、国において下記の事項について真剣に取り組むよう強く求める意見書の提出を請願します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 原子力発電からの撤退を、期限を切って計画的に行い、原子力に代わる自然エネルギーへの転換を明確にすること。</p> <p>2 エネルギー基本計画を抜本的に見直し、原子力発電所の新增設は行わないこと。</p>

請願者の住所 氏名	芽室町東6条8丁目4番地 原水爆禁止芽室協議会 代表 村 越 英 男
受付 年月日	平成23年8月29日
備考	紹介議員 梅 津 伸 子